

# DX 戦略

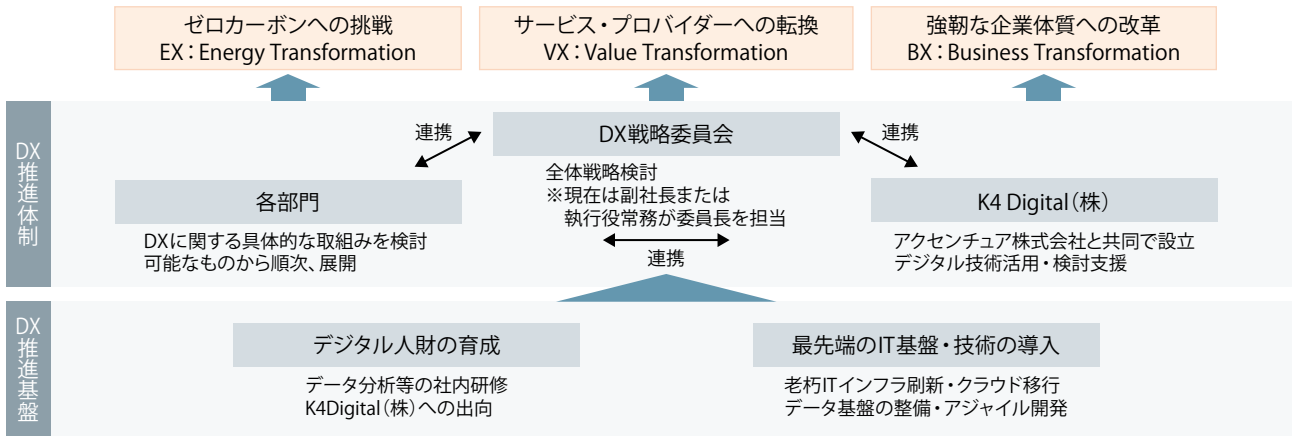
## 戦略の方向性

当社は、デジタル技術の活用による生産性の飛躍的向上と新たな価値の創出(DX)に向け、積極的に取組みを進めており、新たな中期経営計画においても、DXを3つの取組みの柱(EX・VX・BX)の実現に必要な不可欠な手段として位置づけています。

DX推進体制としては、2018年6月、社長をトップとして立ち上げたDX戦略委員会が策定した全体戦略のもと、各部門がDXに関する具体的な取組みを検討し、順次展開しています。また、2018年8月、アクセンチュア株式会社と共同で「K4Digital(株)」を設立し、社内外の専門知見を活用して各部門の取組みを支援しています。

DXの推進には、デジタル技術に関する専門的な知識やノウハウを有する「デジタル人財」が必要不可欠であり、当社では、社内研修やK4Digital(株)への出向等を通じて、基礎的なデータマネジメントから高度なデータ分析まで幅広いデジタル技術を習得した人財の育成に取り組んでいます。

また、DXを推進する環境整備として、最先端のIT基盤およびIT技術の導入にも積極的に取り組んでいます。老朽化が進むITインフラを刷新し、DXに適した柔軟性の高いクラウド環境への移行を進めるとともに、迅速・効率的にDXを進められるようデータ分析基盤やアジャイル開発体制を整備しています。



### 火力発電所におけるロボット・AIを活用した巡視点検自動化システムを開発

当社は、K4Digital(株)、(株)関電システムズと共同で、火力発電所におけるロボット・AIを活用した巡視点検自動化システムを開発しました。本システムは、発電所員が目視などで確認していた設備情報を、自動走行型のロボットを用いて収集し、AIを活用して各設備の運転状況が正常であるかを診断するもので、巡視点検の効率化や技術の継承に寄与しています。

### AI技術やドローン点検サービス等の提供によりお客さまのDXを推進する「株式会社Dshift」を設立

当社は、保有する最先端のデジタル技術の提供により、お客さまのDX推進をお手伝いする「(株)Dshift」を2021年4月に設立しました。

当社はこれまで、水力発電所に流入する塵芥や流氷雪の自動検知システム、火力発電所における煙突内部点検用ドローンといったデジタル技術を開発、活用してきました。(株)Dshiftでは、法人や自治体のお客さまに対し、こうした技術を用いて、システム構築から設備点検、設備健全性評価まで一貫したサービスを提供し、お客さまのDX推進を支援します。

また、(株)Dshiftでは、当社が現在開発中のドローンとAI画像解析の活用による洋上風力設備の運用・維持管理技術を用いて、洋上風力発電におけるさまざまな課題の解決を図り、日本の洋上風力発電の導入拡大、さらにはゼロカーボン社会の実現に貢献します。

